

Medical Management Specialist MMS ニュース

2015
6
月号

●発行/一般社団法人
日本医療経営実践協会
(JMMPA)
〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町
4-14
神田平成ビル7F
●編集/日本医療企画
●毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/



第3回京都大会における演題発表

昨年、第3回京都大会の演題発表は、実践に重きを置く医療経営士が日頃の活動内容を発表し、その成果を問う絶好の機会だ。回を追うごとに発表のレベルは上がっており、関係者からの注目度も高まっている。

年に1度、全国の医療経営士が一堂に会する「全国医療経営士実践研究大会」のメインプログラムとして、例年10人前後の医療経営士が登壇してきた演題発表は、実践に重きを置く医療経営士が日頃の活動内容を発表し、その成果を問う絶好の機会だ。回を追うごとに発表のレベルは上がっており、関係者からの注目度も高まっている。

会では、独立行政法人国立病院機構本部職員の安藤未生氏が「日本の医療を動かす人材の育成を目指して」その一歩としての職員勉強会」をテーマに発表し、最優秀賞に輝いた。安藤氏は自身が入職した当時、職場に新人研修の制度がなく、不安を感じたことから、自らが主催する若手職員向けの勉強会を開催。演題発表では、その取り組み内容と勉強会を成功に導いた秘訣を披露した。

全国大会での発表を通して自身の成長の糧につなげよう

10月31日(土)、11月1日(日)の2日間にわたって開催される第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会。そのメインプログラムである演題発表のエントリーを受付中だ。演題発表は日々積み重ねてきた実践活動の成果を全国の仲間を前に発表を行う絶好の機会。医療機関内外から多くの医療経営士に積極的なチャレンジを期待したい。

日頃の実践活動の成果を伝える絶好の機会！ 演題発表のエントリーを受付中

第4回「全国医療経営士実践研究大会」金沢大会

明日の医療経営の現場を変えるオリジナルティあふれる発表に期待！

演題発表は、大会テーマである「『地方創生』の時代！ 新たな地域医療の実現を目指して」をはじめ、「医療マーケティング」「チーム医療」といった医療経営にかかわる全15の演題カテゴリのなかから1つを選択し、発表を行う。完成度や時代性、プレゼンテーション力といった評価基準をもとに、審査委員の厳正なる審査を経て、最優秀賞1人、優秀賞2人が決定される。自院における課題解決に向けた取り組みはもちろん、医療

界全体に向けた提言など、幅広い視点、切り口によるオリジナルティあふれる発表を期待したい。

演題発表のエントリーは協会ホームページ(<http://www.jmmpa.jp/>)で受付中。医療機関内外から多くの医療経営士のチャレンジを待っている。

第3回京都大会最優秀賞受賞者からのメッセージ



気負わず、まずチャレンジしてみることに意義がある

安藤 未生氏
独立行政法人国立病院機構
本部職員厚生部職員課労務係

私が発表した人材育成の取り組みはまだまだ発展途上の段階で、具体的な成果物や改善のインパクトがあるわけではなかったため、当初は「演題発表に値しない」と思っていました。しかし、第1期生として参加した「経営人材育成 中村塾」の塾長である中村彰吾先生から「PDCAサイクルのPやDの段階であっても、十分発表できる」というアドバイスをいただき、チャレンジしてみることにしました。これまで人前で発表するような経験もなく、全国大会への参加自体も初めてで、なかなか発表時のイメージができなかったのですが、職場内外の方々にご意見を頂戴し、最優秀賞という大変名誉ある賞を受賞することができました。

偶然にも全国大会について掲載された雑誌が勤務先の役員の目に留まり、週例役員会で紹介されました。役員会場で私のような役職のない職員の話が話題になることは本当に異例のことで、気負わずチャレンジしてみた意義があったと思います。

以前は人材育成の必要性について周囲から理解されないこともありましたが、最優秀賞をいただいたことで、背中を押されたように思います。演題発表は、日頃の活動を後押ししてくれる有意義な機会です。ぜひチャレンジされることをお勧めします。

第4回
全国医療経営士
実践研究大会
金沢大会

「地方創生」の時代！ 新たな地域医療の実現を目指して — 医療経営士が解決すべき課題と担うべき役割 —

2015年 10月31日(土) 11月1日(日)

●会場
石川県地場産業振興センター
本館1階大ホール
(石川県金沢市 鞍月2丁目1番地)

●大会運営委員長
神野 正博
社会医療法人財団董仙会理事長
一般社団法人日本医療経営実践協会理事
日本医療経営実践協会北陸支部支部長

事前参加登録受付中！

今なら事前参加登録料金です
(7月31日まで！)
会員および会員申請中
15,000円 (20,000円)
※2日間参加の場合
※()は、通常料金

演題・論文発表者募集中！

医療経営士としての実践活動・研究成果をPRする場です
我こそはと思う医療経営士の挑戦をお待ちしております！！

医療経営士 金沢大会

検索

第3期「経営人材育成 中村塾」7月、開校決定！ ケーススタディで、徹底した実践力の鍛錬を狙う

「徹底的実践」を掲げ、
塾生は医療機関に限定

第1期（2013年12月～14年7月、全6回）、第2期（14年10月～15年3月、全5回）と好評を博した「経営人材育成 中村塾」（中村塾）の第3期が、いよいよ7月よりスタートする。第3期は「徹底の実践！」を方針として掲げ、グループワーク（GW）を中心とした事例検討に基づき、塾生の中村彰吾先生による解説・指導を含む白熱した講義が行われる予定だ。

第1期は講義主体、第2期はGWを踏まえた講義スタイルだったが、第3期はケース

修了者には塾長より修了証が授与される



第1期から第3期全国大会（京都大会）の演

タディをベースに、徹底して実践力を磨き高めていくことが狙いだ。

なお、第3期はケーススタディを主軸に据えた第1弾であり、実際に医療機関に勤務していないと討論や検証に加わりにくいこともあるので、塾生の募集は医療機関勤務者に限定される。題材は、中村塾長がこれまで経営改革や経営指導に携わられてきた聖路加国際病院ほか様々な病院事例や、塾生所属の病院および公算によって得られた病院の経営課題を取り上げる予定だ。

塾生チームによる コンサル活動が目標

第1期・第2期のうち、第1期は「医療経営士1級」合格者の輩出であった。第1期からは、第3期全国大会（京都大会）の演

題発表に4人の塾生が参加し、うち2人が最優秀賞および優秀賞を受賞した。第2期生からも10月31日（土）・11月1日（日）の両日、石川県金沢市で開催される第4回全国大会の演題発表に複数人が参加の予定だ。

また、1級合格に関しては、第1期生・第2期生よりそれぞれ1人ずつ合格者（うち第1期生が資格認定者）が出ている。1級に関しては、合格そのものを目的としているわけではなく、1級合格へ挑戦しようとする気概や志の高さ、1級に匹敵する実力を塾生自らが修得していくことを期待するという意味だ。

【開催日程】	
第1回：7月11日（土）	
第2回：8月8日（土）	
第3回：9月12日（土）	
第4回：10月3日（土）	

時間はいずれも14時～17時。各回終了後、塾長を囲み希望者による親睦会を開催。
第4回は第1期生、第2期生も参加可能とし、期を超えた塾生間のネットワークづくりを行うとともに、金沢で開催される全国大会の塾生演題発表者による予行演習会を開催予定。
●受講料：20,000円（税込・4回分）。原則4回参加（第1期生、第2期生を除く）
●会場：株式会社日本医療企画5Fセミナールーム（東京都千代田区神田岩本町4-14）
お問い合わせ 株式会社日本医療企画 教育・出版事業本部 三浦／江島
TEL.03-3256-2863 E-mail:t-miura@jmp.co.jp
詳しくは [中村塾](#) [日本医療企画](#) [検索](#)

本気で病院経営に取り組みたいと考える志高き医療経営士に、ぜひご参加いただきたい。



塾長の中村彰吾先生

支部NEWS 九州支部

西九州支局開設へ！

会員の切磋琢磨で地域医療をより良いものにしていこう

九州支部は2015年5月、日本医療経営実践協会九州支部「西九州支局」開設をめざし、長崎市で研究会と交流会を開催しました。12年に九州支部を設立して以来、「研究会や交流の場を地方でも開催してほしい」との会員の声を受け、南九州支局（鹿児島市）、東九州支局（大分市）を開設しており、西九州支局は3つ目の地方拠点となります。支局長には一般社団法人是真会理事長・長崎リハビリテーション病院院長の栗原正紀氏が就任予定で、6月の支部総会で承認後、正式発足します。

当日は、長崎県内を中心に佐賀県や福岡県から約60人が参加。開設記念研究会として、橋爪



長崎県内を中心に約60人が参加。九州支部3つ目の拠点となる西九州支局の正式発足が間近に迫る

章九州支部長に「『地域医療構想』策定スタート！

医療機関が今後取るべき戦略を考える」のテーマで講演をしていただきました。

橋爪支部長は、地域医療構想の概念と今後の方向性を解説した後、介護報酬改定について言及し、「今年の改定は、来年の診療報酬改定の予告編と言える。基本的な考え方として、『地域包括ケアシステムの構築』を重視しており、厚労省保険局長が『システムを必ず作らなければならない』と断言している。保険局長の発言だということが重要で、これは医療機関に向けてのメッセージだととらえるべき。医療機関が今後の戦略を考える際、『地域包括ケアシステム』の中心を占めるくらい、積極的に関与していくべきだ」と指摘。各医療機関が取るべき具体的な方策として、「地域ケア会議への参画」「在宅医療の推進」「在宅看取り」「地域医療ビジョンへの早期の対応」を挙げました。

続いて開催した交流会には、会員を中心に約40人が参加しました。橋爪支部長や栗原支局長との医療経営談義を楽しみにしていた会員も多かったのですが、栗原支局長は季節外れの台風の影響で、当日のご参加ができませんでした。それでも、「皆さんの切磋琢磨で、長崎の地域医療をより良いものにしていきましょう！」と、



交流会では、参加者が一言ずつ抱負を発表。互いに親睦を深めた

熱いメッセージを寄せていただき、参加者の大きな刺激となりました。

また、会員の皆さんも一言ずつ抱負を発表。「地域医療の課題を解決するために、医療経営士の力を合わせていきたい」「今回の出会いを機に、交流や研鑽を進めていきたい」など、意欲的に活動していく決意を確認しました。

九州支部では、企画運営のほか、講師として参加者を指導するところまで、医療経営士の皆さんで担当し、互いに切磋琢磨していける研究会を目標にしていきたいと考えています。西九州支局でも、「こんなテーマを研究したい」「自院の取り組みを発表したい」という参加者を募集しています。研究会を自分たちで企画・運営することで、一段と成長するきっかけにしてほしいと願っています。

医療経営士よ、地域医療の主役となれ！

データヘルスハンドブックシリーズ1『保健師・保険者のための透析予防 行政—医療連携ハンドブック』（日本医療企画刊）が好評発売中だ。厚生労働省はすべての健康保険組合に対し、特定健康診査やレセプトデータに基づくデータヘルス計画の作成を義務づけた。膨大なデータの中から何をどう活用し、医療と行政がどう連携していくか。今後、その成否によって地域医療や地域財政が大きく左右される可能性がある。「病院単体で完結する医療から地域で完結する医療へ」——医療経営士として地域医療に貢献し、手腕を振るうチャンスが到来した！



**なぜ今データヘルスが
必要なのか？**

データヘルスとは、特定健康診査（特定健診）や診療報酬明細書（レセプト）などから得られる健康医療情報のデータ分析に基づいて実施される、生活習慣病の予防・重症化防止を中心とした効率のよい保健事業の総称であり、厚生労働省は2015年度からすべての健康保険組合に対してデータヘルス計画の作成と実施を求めています。

医療ビッグデータ時代に先駆けけたヒントがここに！

行政との連携に基づき、データヘルスをどう活用し、地域包括ケアシステムをどう推進していくか——

療や保健事業を押し進めることは必然的な流れと言えます。

こうした中、近年では健診やレセプトなどの健康医療情報の電子化と電子的管理が進み、保有データを活用した分析が可能となりました。データヘルス計画はこの分析されたデータを用い、保険者が加入者の健康状態に即した効果的・効率的な保健事業を行うことが狙いです。

1億円の医療費削減を実現した取り組み事例

本書は、データヘルスの具体的な活用法から、行政・保険者と医療機関による透析予防のための地域連携のしくみづくり、成功事例として千葉県いすみ市と埼玉県秩父郡皆野町における具体的なノウハウを解説しています。

人工透析は年間1人当たり総額500万円弱の医療費がかかり、その大半を医療保険で負担することになり、人工透析となる原因の過半数が糖尿病性腎症の重症化によるもので、糖尿病・糖尿病予備軍は約2050万人を数え、透析患者数は約30万人に至っています。しかし、糖尿病も早期に発見できれば、透析への移行を阻止したり、開始を遅らせることが可能です。

いすみ市では、データヘルスの活用に基づき、医師会、医療機関、いすみ市食生活改善協議会（市民）、行政の連携により、糖尿病性腎症の重症化防止（透析予防）に成功し、2010年度には1億2000万円に達していた国民健康保険事業への支出を2015年度には2000万円にまで圧縮することができました。

「データヘルス計画がもたらす将来的可能性」

団塊世代がすべて後期高齢者となる2025年に向け、中学校区の範囲を目安に、医療や介護、行政が一体となって「効率的な連携」「在宅医療・在宅介護の推進」「24時間対応」などに取り組み、高齢者を支える地域づくりを推進するのが「地域包括ケアシステム」です。

10月にはマイナンバー（社会保障・税番号）制度の導入が決定しています。マイナンバー制度の導入とデータヘルス計画の活用は、健康医療情報のデータ化をさらに加速させ、将来的には「医療ビッグデータ」の基盤になると言えます。

「病院単体で完結する医療から地域で完結する医療へ」「地域包括ケアシステムの実現に向けた医療、介護、行政の効率的な連携」

「データヘルス計画の推進に基づく、医療ビッグデータ」の活用という点で、医療経営士が参考にすべき点が多々あると言えます。

「医療経営士の活躍は、病院を含む地域全体へ」

データヘルス計画は、地域それぞれの事情に合わせて構築していかざるをえません。本書はその際の共通基盤となる重要事項を紹介しています。

2025年問題を踏まえたこれからの地域医療を考へるにおいて、「病院単体で完結する医療から地域で完結する医療へ」「地域包括ケアシステムの実現に向けた医療、介護、行政の効率的な連携」

日本医療企画から
新刊のご案内

保健師・保険者のための透析予防 行政—医療 連携ハンドブック

データヘルス
ハンドブック
シリーズ1

データヘルスの具体的な活用法から、保健師（行政）・保険者と医療機関による透析予防のための地域連携のしくみづくり、いすみ市における成功事例のノウハウまでを完全解説！

■編著者
平井愛山
（一般社団法人日本慢性疾患重症化予防学会代表理事）
松本 洋
（株式会社日本医療企画）

《本書内容に関する問い合わせ先》

TEL: 03-3256-2862
E-mail: healthcare-sd-order@jmp.co.jp
URL: http://www.jmp.co.jp/rompas/
担当: 松本 洋

目次

- 第1章 糖尿病性腎症の透析予防とデータヘルスの背景
- 第2章 KDBを活用、行政と医療が連携して地域の透析を予防する
- 第3章 データ分析——透析ハイリスク患者はどこにいるか
- 第4章 糖尿病性腎症の臨床における最新動向
- 第5章 糖尿病性腎症2期の重症化防止の効果
行政—医療連携の枠組みとアウトカム
- 第6章 透析移行阻止で、国民健康保険への法定外繰出金が1億2,000万円から2,000万円に激減

A4判/88頁 定価: 4,320円 (税込)

協会事務局からのお知らせ

「医療経営士」在籍企業・医療機関等へご登録ください！
登録情報が変更になりましたら、「変更申請」を！

ゴールデンウィークもあっという間に終わり、もうすぐ梅雨の季節を迎えます。蒸し暑い日々が続きますが、体調管理には十分お気を付けてください。6月実施の第15回「医療経営士3級」と第9回「医療経営士2級」の資格認定試験の受験エントリーが終わり、事務局では試験実施に向けた事前準備に追われています。6月8日(月)に受験票を発送予定ですので、受験される皆様は十分に内容をご確認ください。

さて、本協会では会員の皆様へ、所属先医療機関名、法人名、学校名等について登録へのご協力をお願いしております。会員の皆様にご登録いただいた所属先医療機関名、法人名、学校名等は協会Webページやパンフレット等で公開いたします。

医療機関のかかえるさまざまな経営課題を、迅速かつ確に解決できる能力をもった人材である「医療経営士」。この有能な人材の所属する医療機関名、法人名、学校名等を公開することで、「経営力」をもった医療機関であること、また医療機関をマネジメントする人材を有する企業、法人であることをアピールすることができます。

ぜひご登録いただき、皆様の所属先のアピールにご活用ください。

なお、所属先の公開にあたり、皆様の個人情報は一切公開いたしません。

◆掲載ページ・ご登録はこちらから

<http://www.jmmpa.jp/support/cat108/>

続いて、会員登録情報の変更手続きについて、事務局より会員の皆様へお願いがございます。MMSニュースをはじめ、会員の皆様向けにさまざまな送付物やメール配信がございますが、「宛所なし」や「エラー」で配達・配信できないケースが非常に増えてまいりました。住所・勤務先・メールアドレス・氏名など、申請時の内容から変更が生じた場合は、「個人正会員登録変更申請書」をご提出いただく必要がございます。変更の際は、協会ホームページの「会員サポート」にある「個人正会員登録変更申請書」をダウンロードいただき、協会へご郵送もしくはFAXにてお送りください。ご不明な点がございましたら、協会までお問い合わせください。

それではまた次号でお会いいたしましょう。

日本医療経営実践協会

NEWS & TOPICS

第4回「全国医療経営士
実践研究会」金沢大会
参加登録および演題・論
文発表登録を開始

本協会では、本年10月31日(土)、11月1日(日)の2日間(わたり)、金沢で開催する第4回「全国医療経営士実践研究会」金沢大会の

参加エントリーおよび演題・論文発表登録受付を開始した。

本大会は医療経営の最前線を知る機会であるとともに、医療経営士の日頃の活躍を披露する場である。大会の詳細は確定次第、協会ホームページならびに本紙に掲載予定。

◆主催

一般社団法人日本医療経営実践協会
◆大会運営委員長
神野正博(社会医療法人財団董仙会理事長、一般社団法人日本医療経営実践

協会理事、日本医療経営実践協会北陸支部支部長)

◆会期

10月31日(土)
11月1日(日)

◆会場

石川県地場産業振興センター本館1階大ホール

2015年9月に有効期
限を迎える会員の更新手
続きを6月15日(月)より
受付開始

2015年9月14
(月)日に認定期間の有
効期限を迎える会員の

更新手続きを、6月15日(月)より開始する。

更新希望者は、8月14日(金)までに、資格認定更新料(税込1万3000円)および年会費(税込1万円)の納入、課題の提出(2級のみ)、さらに更新申請書、誓約書、履歴書の提出を行う必要がある。

具体的なスケジュールは以下の通り。

◆更新書類受付開始:
6月15日(月)

◆更新書類締め切り:
8月14日(金)

前記期日までに更新

手続きを終了した会員には、有効期限の9月中旬に新たな認定証(2018年9月14日期限)が発行される。

詳細は本協会より該当者へ案内が郵送される。

医療経営士資格更新ならびに年会費の延長措置について(最終案内)

本年5月14日(木)に認定期間の満了を迎えた会員の更新申請受付はすでに4月14日(火)に終了しているが、更新意思のある会員に対して延長措置を行って

いる。延長措置を希望する更新対象会員は、協会事務局まで連絡いただきたい。なお、延長措置の対象者は、新規の認定カード・認定証の発送が2015年9月以降になる(発効日は5月15日扱い)。

また、同じく5月14日(木)で年会費の納入期限を迎えた会員に対しても、支払期限の延長措置を行っている。

延長措置を希望する対象会員は、協会事務局まで至急連絡いただきたい。

MMSニュースを活用して、
「医療経営士」の認知度アップに
ご協力ください!

会員サービスの一環として毎月発行しているMMSニュースを活用して、「医療経営士」の認知度アップにご協力くださる会員様を募集しております。職場やお取引先へMMSニュースをお配りいただくことで、ご自身の活動をアピールする資料としても、ご活用いただけたらと思います。

配布用のMMSニュースをご希望の方は下記のアドレスへ「MMSニュース希望」とタイトルをつけ、認定登録番号、お名前、御社名、所属部署、肩書き、送付先住所、電話番号、そして必要部数をご連絡ください(ご希望の部数につきましては、ご連絡をいただいた段階で調整させていただきます)。

皆様のご応募をお待ちしております!

お申し込み ▶ E-mail : info@jmmpa.jp

地域包括ケア時代のキーパーソン

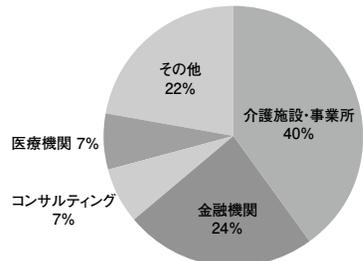
「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

— 介護の魅力と価値を高めるのはあなたです —

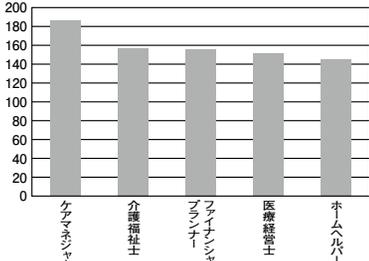
成長産業として注目を集める介護福祉業界で、2013年に誕生した「介護福祉経営士」。

過去6回の「介護福祉経営士2級」試験では812名が合格しました。そのうち金融機関・医療機関勤務者が約3割を占め、さらに、医療経営士とのダブルライセンス取得者は現在152人になりました。あなたも、医療経営と介護経営の双方に明るい人材となって、活躍の場を広げませんか?

2級合格者の職業別構成(過去6回の試験の累計)



2級合格者の保有資格別構成 ※重複あり



次回試験日程

第7回 2級 2015年 7月12日(日)

受験申込締切
2015年 6月9日(火)まで